

大槌町立大槌中学校

2014年 8月 22日

大西 歩実(香川大学大学院教育学研究科)
北林 雅洋(香川大学教育学部)

【文献】

- (1) 大槌中学校吹奏楽部による被災報告
<http://www.15.ocn.ne.jp/~ccrc/topix/topix1203.html>

【場所】

大槌湾から約1.5km離れた位置にある。二つの河川に挟まれた場所にあり、どちらの河川も学校の敷地から30mほどしか距離がない。

住所:岩手県上閉伊郡大槌町大槌第14地割150

※現在は開校し、別の場所で仮設校舎で開校した。



赤い範囲:大槌町

緑の範囲:大槌中学校

【東日本大震災による被害】

校舎1階天井まで浸水。火災も発生。(1)

【震災当日の様子】

中学校は津波で校舎の一階まで浸水し、天井まで壊れた。また、音楽室の下の調理室や、柔道室や技術室が津波の後の火災で燃えた。その後すぐ、体育館は遺体安置所として使われた。校庭もがれき置き場等に使われ、学校自体も元々老朽化が進んでいたため、学校として使用することができなくなった。

学校は3月11日は卒業式の予行練習と準備の日だったため、生徒は係の生徒以外午前中で下校していた。

地震や津波の起こった時間帯は、学校にはほぼ職員だけ残っていたので、生徒達は自分のいた場所からそれぞれ避難した。(1)



学校のあった場所(2014/3/19撮影)

【調査して言えること】

中学校の敷地の標高は5mほどで、川に挟まれた場所にあるので、避難が必要な学校である。もし、避難するとしたら、現在仮設の団地になっている場所が適しているように思う。ここまで登れば、標高22mほどの高さまで上がることができることが分かった。また、この場所に行くためには、細い川を渡る必要があるため、十分な注意が必要である。



学校の敷地と大槌川(2014/3/19撮影)



学校の敷地ともう一つの河川(2014/3/19撮影)